



プロジェクト名：バリューを持ち寄るシェアハウス！

アジェンダオーナー：栗山和基

沼田さん：不動産業に勤しむ

内田さん：PRプランニングの部署にいる。お客様との会話でシェアの文脈にどうやって乗せていくかを知りたい。

大原さん：祭りを通じて、人と街を元気に。どういう約束事をしているのかが気になる。こういうのもっと増えるといいのか、どんな社会になって欲しいのかが知りたい。

山口さん：新入社員の時に寮に1年間、20歳差の男性と。一緒に住むことで新しく生まれる価値って、あるといいなと思います。

《議事録》

①アジェンダオーナーから提示された、話し合いたいテーマ（課題意識、問題提起）

・シェアハウスの一番いいところは、人が集まってくること

いろいろな人が集まって、人種のるつぼになって、近況報告とかできることが面白い

選択肢の1つとして、シェアハウスができるといいなと。

地域のお祭りにも入って、町内会ぐるみでやったことがある。

②参加者から出た意見・アイデア

Q：明文化したルールはあるの？（沼田さん）

A：ビジネスと利益は出していないけど、明文化したルールはあんまりない。

「私はできるだけルールはつくりたくありません」という合意形成

Q：それは意図してつくってない？（大原さん）

A：ルールは便利だけど、窮屈だから。ただ、ゴミ出し担当とか、共有スペースでの散らかりは、注意し合う。

Q：ハウス内の理念とかはあるの？素晴らしい12人が集まりたいと思う魅力は？体験してない人が魅力に感じることは？（山口さん）

A：シェアハウスは、事業者or知人同士だけ。コンセプトやテーマがあると、似た者同士が集まる。事業者の募集は、確かに人は集まるけど、個性とか多様性は狭まる。



私たちがやっているのは、取材されにくい。メリットデメリットとかを説明。

広告代理店もいれば、ゲームクリエイターも、医療系の人も、赤ちゃんもいるし、多様性を重視するシェアハウス。

Q: 今はメディアを使って広める？

A: そうですね

Q: オーナーさんに嫌がられますよね？

A: シェアハウスやったことない人には、受け入れられにくい。貧困シェアハウスというイメージもあるのは確か。

その他: オーナーさんが変わらないと変わらない。投資目的でのオーナーさんもいる。入居率を重視する人もいる。

Q: 一棟丸ごとをシェアハウスにする？

A: シェアハウスは自分の部屋がある意味

Q: シェアハウスはどのようなイメージ？

A: 玄関があるかないかな気がする。共有スペースがかなり充実してきたマンションもあるので。

その他: 法律的な話をすると、シェアハウスは寄宿舍とか、シェアハウス向けにオーナーがなんででかい空き家が多いのかは、元々大家族で住んでいたい高齢者が手放すから。

Q: バリューの見え方は？(大原)

A: 別にないけど、こうだといいいよねということをお互いがするような、文化をつくるようにする。

Q: 栗山さんが変わったなと思うことは？

A: ミスター東大の子がいて、若者の価値観がわかるようになる。若者のSNSの使い方、言葉使いなどを学べる。スタートアップで働いている人もいて、その人の経営者視点とかも学べるのがいい。ビットコインとかも、教えてもらったりとか、友達の友達がが増えて、それが面白い。リアルSNSみたいな感覚。

Q: シェアハウスを広める上での戦略は？



A: 東京中心に広めたい。ニーズとシーズで考えている。東京で集まってくる人、空き家を活用するとかはニーズ。週末移住とかと組み合わせて、やれると面白い。

Q: メリット以外に、デメリットは？

A: デメリットは、コミュニティの民度、文化レベルが低いところもある、インフルエンザなど病気蔓延。2ヶ月に1回は大掃除。

Q: 入りかわりのスパンは？

A: 半年に一回入れ替えがある。

③アジェンダオーナーに対する貢献やシェアなどの背中を押すひと言

④ネクストアクション、今後の活動の方向性やアイデアなど

- ・細かいルールは決めずに、日本人的な価値観で「空気を読む」という文化が広めやすい
- ・外人済ませたら、明文化が必要かも
- ・会員制のシェアハウス

例: <https://www.wework.com/ja-JP/>

優秀な社員は地域的に住もうとするし、イノベーションが生まれやすくなる

多拠点シェアハウスをつくる！